

R.I. District2610 . ROTARY CLUB OF UOZU

## 魚津ロータリークラブ 会報誌

2010 - 2011 年度 R 会長                      レイ・クリンギンスミス  
2010---2011 年度 魚津 R.C 会長      宮本 汎



### 第 2776 回 例会報告

2011年 5月 13日

#### ゲストならびにビジター紹介

ゲスト: 魚津市商工観光課 主幹 市街地活性化室長  
宮野司 様



#### 誕生祝

本日はありません。

#### 会長挨拶



今福島第一原発は大変な状況ですが、あれはGEの製品です。他方浜岡原発は東芝です。21年前に当時の東芝社長の土光氏は「21世紀に向けて」という本を出され、エネルギー対策として「備えあれば憂いなし」先手を打つ、即対応することが最良の方策」と言われました。浜岡が止まるとヨタをはじめ愛知県の産業も打撃を受けます。

日本にある54基の原発をつくるのに国家予算の半分がかかっています。それだけかかったものを止めるのもどうか、また太陽光・風力など九つの発電方法に頼ることも可能です。願わくば蓄電池がすすめば、どんどん自然エネルギーを活用することができて、いい時代を迎えることができます。富山県に憂いがないことを念じて話しを終わります。

#### 幹事報告

社会に学ぶ 14歳の挑戦 事業推進委員会より 趣意書・実施要綱

5月例会案内 5月20日 野外例会(大伴家持碑の清掃)

(ありそドーム)

5月27日 卓話 寺崎君・清水君

(ホテルサンルート)

5月SAA補助 金山君・辻(浩)君・松田君 よろしく願いいたします。

#### 出席報告

本日の出席者 28名 出席率 84.84% 欠席者 5名

メイクアップ済み 松田君、辻(英)君

2774回メイクアップ 大城君、中川君

2774回修正出席率 77.14% 82.85%

#### ニコニコボックス

野澤幹事 西部中学校の募金総額は4月末で20,820,500円になりました。ご協力ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

宮本会長 新幹線の接続がうまくいきますように。

#### 委員会報告

##### 地域環境委員会 谷峰行委員長

来週 5/20 12:30スタートで大伴家持歌碑清掃を行いますので、ジャンパー着用等をお願いいたします。



本日の卓話 「北陸新幹線開業に向けた取り組み等について」

魚津市商工観光課 主幹 市街地活性化室長 宮野司憲 様

北陸新幹線が大阪まで全線開通すれば、首都圏や関西へ通じるネットワーク機能が高まり、過密ダイヤの東海道新幹線の負担が軽減されます。合わせて大規模災害の危険分散の必要性からも、代替補完機能（バイパス）として期待されています。現在の全県での用地取得率は99%、工事着手率は100%、土木工事の完成率は66%になっています。



新幹線効果について見ますと、まず、東京まで最速で2時間7分と1時間以上短縮されます。運行本数が多く一度に多くの人を運ぶことができること、また、死亡事故ゼロという安全性が高いということが上げられます。そして、利用者増により経済波及効果があると言われていています。波及効果からスロー現象を差し引いても100億円以上の効果があると言われていています。

一方では、在来線の活性化も必要になってきます。新幹線開通と同時にJR西日本から経営分離されることになっていますが、地域のみなさんの通勤 通学の足を確保するために、県が責任を持ってその存続を図っていきます。

富山県内の96キロについて県が責任を持って、三セク化を図っていきます。三セクの経営の基本方針のポイントは、運行形態、運行計画、組織 施設、JRの協力、支援 の4点です。(配布資料4ページに記載) 三セク会社については各県単独の会社を設立する予定です。

魚津市として何をすべきか、について資料の7ページ以降に記載しています。新魚津駅での乗り降りのし易さや電鉄魚津駅周辺にも観光スポットが多くあるので、新幹線からのお客様が史跡めぐりができるような環境を整備していきたいと考えています。魚津駅と新魚津駅の乗り換えの利便性向上と新魚津駅のバリアフリー化が主な内容です。魚津駅と駅前広場の整備イメージ図はP8とP9に、電鉄魚津駅のイメージ図はP11に記載してあります。電鉄魚津駅については、建物のリニューアル・エレベーターを付けたバリアフリー化による乗り降りのし易さを考えています。また、駅舎のコンパクト化とガード下のバス通路の活用なども図っていきます。駅前広場は商店街利用者の駐車場としても活用したいと考えています。23年度に基本計画 詳細計画を作成し、24年度からステーションデパートを取り壊して、新しい駅ビルをつくる方針で進んでいます。

これらの対策により、新幹線との結節性を高め、合わせて魚津の特性 魅力を十分に観光等でPRして、魚津市への来訪者の増加につなげて魚津を元気にしていけるものと考えています。新黒部と魚津駅は、新大阪と大阪駅の関係と同じであると思いますので、このビッグチャンスを活かしながらプロジェクトにあたっていきたいと思っています。

